

通信・織りの風・vol-008

NPO 織風会・クラフトヌプリトック

梅雨入り前の盛夏の装いに、コロナ渦の生活に慣れてしまったとはいえ、公共の場、職場から帰宅してマスクを外す解放感、今日も一日なんとか無事に過ごせたかなと思いつつ手の消毒をさっと終えて、シャワーを浴び、冷たい飲み物を一気に飲み干す。

昭和を生きてきた者にとって全てが異常（気象も生活様式も制度も政治も）に感じながら、あらためてこれがこの先の常識となっていくのかな、今のこども達、これから生を受けて育っていく子たちの行く末を案じてしまう今日・・・。

ヌプリに来る道すがら、ラジオから障害者の交通機関の割引に関して、ICでの対応が可能になるというニュースを耳にしました。調べてみると・・・

『JR東日本など関東の鉄道・バス事業者69社が加盟する「関東ICカード相互利用協議会」は10日、IC乗車券の利用時に障害者割引の適用を自動的に受けられるサービスを2022年度後半をめどに始めると発表した。関東圏のSuica（スイカ）、PASUMO（パスモ）が対象。

割引を受けるため障害者手帳を見せる必要がなくなる。

現在は障害者がICカードで鉄道を利用する場合、入場時は改札にタッチするだけで済むが、出場する際には駅員のいる窓口で障害者手帳を見せて手続きをしないと割引を受けられない。使い勝手が悪く、国土交通省などが改善を求めている。

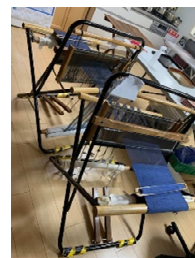
新サービスの具体的な利用方法などは今後決める。対象エリアは関東圏だが、JR東日本は東北地方や新潟県でも導入する方向で検討する。』…ということだそうです。

バリアフリー、あらゆる人（障害の有無、思考・嗜好の気持ち）一人ひとりの権利が尊重され守られる社会になっていって欲しいとおもいます。

さて、機織りの作業活動は普段と変わらずに行っています。しかしながら、販売する機会がないということは、在庫を抱え、収益も上がらない状況です。

そんな中、織り生地の下請けの話が春先に舞い込み、背に腹は代えられない状況なので下請け作業を受けることにしました。当初は指定された糸の対応に苦慮しながら整形をし、スタッフが試し織りをしていました。試行錯誤の中である程度の目途がたち、最近では利用者さんにも織ってもらうようになりました。収入はわずかではありますが、この先、こちらの製品も扱ってもらえるようになればよいかと期待しています。

相手先のお名前はTHREE PANS（スリー パンズ）さんといいます。



☆ホームページをリニューアルしました。

平成26年に運営法人が織風会になってから、なかなか更新ができない状況でしたが、漸く一新することができました。まだまだ出来栄は30点くらいですが、この先の販路拡大に向けて、都度更新していきたいと思っています。

地域活動支援センター
クラフトヌプリトック
Craft Nupuri-tok

しるふかい
NPO 織風会
044-935-2678

最後に、織風会の定期総会のお知らせと資料の配布をいたしました。

ご確認の上、期日までにご回答をお願いいたします。

尚、NPO 織風会の年会費ならびに寄付金をお振込み頂き誠にありがとうございました。

まだ未納の方はお手数をおかけしますが、今月中にお振込みをお願いいたします。